



「世界から見た百舌鳥・古市古墳群」

現在、1121件の世界遺産がユネスコによって登録されています。一昨年、百舌鳥・古市古墳群も、世界文化遺産として無事にその仲間入りを果たしました。コロナ禍による困難な時代である今こそ、改めて世界から見た古墳群の価値や魅力について考え、そこに当文化遺産を次代に伝えていく意義や希望を見いだしたいと思います。世界遺産に対する考古学的・観光的知見から、あるいは地域に即した視点から話題を提供して頂きます。

令和3年(2021年)

2月27日 土

13時00分～16時30分

開催形式

オンライン開催

参加者のご自宅からパソコン、スマートフォン、タブレットによるYouTube視聴となります。

参加費

無料

※参加(視聴)にはパソコンやスマートフォン等の端末およびインターネット環境が必要です。また通信費等は参加者負担となります。

定員

300名

(事前申込必要(先着順))

基調講演

「世界の眼で見た百舌鳥・古市古墳群」



まつぎ たけひこ
松木 武彦

歴史学者・考古学者・国立歴史民俗博物館教授

昭和36年(1961)生まれ。1984年、大阪大学文学部国史学科を卒業。1990年、同大学院文学研究科博士課程を中退し、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター助手に就任。1995年より岡山大学文学部助教授、2007年同社会文化科学研究科准教授、2010年教授。2014年より国立歴史民俗博物館考古研究系教授。

主な著作:「古墳とはなにか 認知考古学からみる古代」(角川選書 2011) / 「未盗掘古墳と天皇陵古墳」(小学館 2013)

「美の考古学—古代人は何に魅せられてきたか—」(新潮選書 2016) / 「縄文とケルト—辺境の比較考古学—」(ちくま新書 2017)

話題提供

もりしま としゆき
森嶋 俊行

(四天王寺大学 人文社会学部日本学科 専任講師)

いとう まさひろ

伊藤 聖浩 (羽曳野市世界遺産・文化財総合管理室、考古学)

【総司会】

すはら しょうじ
須原 祥二

(四天王寺大学 人文社会学部社会学科 教授)

【オープニングプレゼンテーション】

四天王寺大学 学生グループ

主催 羽曳野市・羽曳野市教育委員会・四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部

※本講座は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて開催いたします。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、一部変更または中止となる可能性があります。



【スケジュール】

13:00 開会挨拶

いわお ひろし
岩尾 洋(四天王寺大学・四天王寺大学短期大学部 学長)

13:05 オープニング — 学生プレゼンテーション —

13:30 第1部 基調講演

「世界の眼で見た百舌鳥・古市古墳群」

百舌鳥・古市古墳群は、世界の先史・古代モニュメントのどのような系統に属し、いかなる個性をもっているのか。日本列島の古代国家形成の第一歩となった巨大古墳を通じて、その歴史的特質に迫りたいと思います。

松木 武彦(歴史学者・考古学者・国立歴史民俗博物館教授)

14:45 第2部 話題提供①

「世界文化遺産登録と地域の観光・生活における変化」

森嶋 俊行(四天王寺大学 人文社会学部日本学科 専任講師)

15:05 話題提供②

「市民と一緒に守る世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」」

伊藤 聖浩(羽曳野市世界遺産・文化財総合管理室、考古学)

15:40 第3部 ディスカッション

シンポジスト 松木 武彦 ・ 森嶋 俊行 ・ 伊藤 聖浩
総合司会 須原 祥二(四天王寺大学 人文社会学部社会学科 教授)

16:25 閉会挨拶

やまのは はじめ
山入端 創(羽曳野市市長)

※本講座は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて開催いたします。また、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、一部変更または中止となる可能性があります。

開催形式

オンライン開催

参加者のご自宅からパソコン、スマートフォン、タブレットによるYouTube視聴となります。



※参加費は無料ですが、参加(視聴)にはパソコンやスマートフォン等の端末およびインターネット環境が必要です。また通信費等は参加者負担となります。

申込み

下記ホームページよりお申込みください。

【URL】

<http://www.shitennoji.ac.jp/ibu/exten/>
(公開シンポジウム内の応募フォームからお申込みください。)

QRコードはこちら



※申込み完了者にYouTube視聴用のURLをご記入のメールアドレスへ送信します。

問合せ先 TEL 072-956-3345